

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ

2021-22 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日 1 丁目 2-29 シグママンション朝日 B 棟 105 号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2021-22 年度国際ロータリーテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SERVE TO CHANGE LIVES

第 5 回例会 NO. 2526 2021 年 8 月 4 日

【宮寺順子会員のペット】

ルナちゃん (母)

ルカちゃん (娘)

アミちゃん (孫)

◆メイクアップ

・8/4 第 2 回理事会

渡邊慎司・大里光夫・堀内正人・吉田和義・
石田 亨・佐藤丈夫・加藤智生・渡辺元貴・
鶴岡大治



コロナウィルス感染拡大防止の為の緊急事態宣言発令に伴い、リモートでの例会を行いました。



■司会進行 加藤智生 S A A

◆点鐘 1 2 時 3 0 分 渡邊慎司 会長

◆出席 会員 4 1 名 ◆出席率 6 9 . 6 9 %
出席 2 3 名 ◆前々回出席率 7 4 . 2 8 %
欠席 1 8 名 ◆修正後出席率 8 2 . 8 5 %

◆欠席者【敬称略】

石井文子・叶川博章・金見和子・倉島和弘・
鈴木秀幸・中野麻美・林田謙志・藤野宏治・
松岡邦佳・宮寺順子



ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 慎 司
幹 事 吉 田 和 義
編 集 大 岩 も え

国際ロータリー第 2790 地区

R I 会 長 シェカール・メータ
地区ガバナー 梶 原 等
ガバナー補佐 鈴 木 荘 一

■会長挨拶・報告

渡邊慎司会長



皆さんこんにちは、緊急事態宣言の発令により急遽リモートによる例会とさせて頂きました。準備期間が短い中でのリモート例会ですが、やってみないと分からないのでまずは実行することが大事だと思います。失敗から学び今後の例会で活かしていけるようにしていきたいです。できれば、慣れたころには通常の例会が出来れば良いと思いますが、本日はリモートだと例会に参加できない方のために会場を用意させて頂きました。会場では感染対策を講じて進めています。

連日オリンピックの試合が放映されていますが、皆さんが好きな競技は何ですか。オリンピックの素晴らしい所として、様々な競技が開催される所にあると思います。オリンピックを契機に人気スポーツになる事もあります。今回も様々な新競技が採用されていますので、皆さんも興味を持って観戦してみてくださいでしょうか。

柔道はオリンピック開催時から連日試合が開催されていましたが、金メダルをはじめ多くのメダルを獲得しています。日本では柔道に限らず「礼に始まり礼に終わる」という精神が浸透していますが、それは審判に対しても同様であり、誤審で負けたとしてもそれを受け止める事が出来なければいけません。今ではビデオ判定が主流になってきましたが、誤審と言って私が思い出すのは、2000年のシドニーオリンピックでの柔道100キロ超級での決勝戦です。篠原選手が相手の内股に対して、内股透かして技を返して1本を取ったと思われましたが、審判の判定は相手選手の有効でした。その後相手選手が指導を取られポイントで並びましたが、試合終盤に再度有効を奪われ負けてしまいました。

表彰台では涙を流した篠原選手でしたが、「これが一本じゃないのだったら、何が一本なんだ。じゃあもう一回なげてやろう」という前向きな気持ちになれなかったのか。それが悔しくて涙が溢れ出てしまった。武道は心技体が大切と言われ、その中でも最も大切なのは心の部分。自分は気持ちを切り替えられなかった。強い心を持てなかった。そんな自分自身に腹が立って涙を流してしまったと語っています。

また、「自分が弱かったから負けた」「審判に不満はない」という事も語っています。本当に自分に力があつたら、残り時間は十分あつたしその後で勝つはずだ。自分に絶対的強さがなかった。そして、審判が間違えるような、そんな

試合をした自分に責任があると述べています。

本来ならば金メダルを取ることができた試合ですが、誤審により銀メダルに終わってしまった。しかしその責任は自分にあると、試合に負けたのが悔しいのではなく、自分自身の不甲斐なさに涙を流す、他人のせいにする事なく自分を見つめる事ができる人は強くなれると感じました。

コロナウイルスのせいにして活動をしないのではなく、普段からコロナウイルスに罹らない様に行動することで、ロータリークラブ内でコロナウイルスが感染することが絶対にならないように活動していきたいと思えます。

■幹事報告

吉田和義幹事



1. 幹事報告

- 1) 2020-22年度ガバナー事務所より「クラブ活動計画書」送付の御礼が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 一般社団法人ロータリー友事務所より「新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件」のご案内が届いておりますので、回覧いたします。
- 3) 2021-22年度ガバナー事務所より日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせが届いておりますので回覧いたします。
- 4) 本日は例会終了後、第2回理事会となっておりますので、理事・役員の方のご出席をお願いいたします。

2. 他クラブからのお知らせ

- 1) 木更津RC・君津RCより「週報」が届いておりますので回覧いたします
- 2) 木更津RC・袖ヶ浦RC・富津シティRC・君津RCより、「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 3) 木更津RCより「クラブ活動計画書」が届いておりますので回覧いたします。

3. その他のお知らせ

特になし

4. 回覧

- ・木更津RC・君津RCより「週報」
- ・袖ヶ浦RC・富津シティRC・君津RCより、「例会変更のお知らせ」
- ・木更津RCより「クラブ活動計画書」

■委員会報告

◆雑誌・姉妹クラブ委員会 阪中昌司委員長 《ロータリーの友8月号》

【横組み5ページ】

RI会長メッセージ

2022年7月までに会員数を130万人に増やすというビジョンを掲げています。あらゆるロータリアンとローターアクターにそれぞれ一人誰か新しい人をクラブに紹介してください。特に、多様性に焦点を当てて、若い世代、女性に働きかけましょう。そして25名以上の新会員を獲得できた人は、新設されたメンバーシップ・ソサエティの会員となります。

また、会員維持も新会員増強と同じくらい重要です。バーチャル形式やハイブリット形式の例会を導入しているクラブを力強く思います。

最後に、今年度は、ロータリーの内外からボランティアを結集し、クラブの活動を地域社会に発信するロータリー奉仕デーを全クラブが少なくとも1度は計画するよう期待します。

【横組み7ページ】

ロータリー衛星クラブ

衛星クラブは、2013年に新ロータリークラブの結成に必要な会員数に満たない場合のオプションとして導入されました。20名以上の創設会員が必要なロータリークラブに対し、衛星クラブは8名以上の会員で結成が可能です。ロータリークラブと同様、例会を開き、細則と理事会を設け、地域社会で奉仕活動を行います。ロータリークラブは、スポンサーとなり、助言や支援を行います。

8ページ以降に衛星クラブの特徴やメリット、課題等が記載されています。

【横組み20ページ】

日本のロータリー100年を祝う会

5月にオンラインで開催され、式場に参集したのは16名でしたが、1,000人以上がライブ中継を視聴しました。

100周年を祝う会の千委員長の基調講演の中で特に印象に残ったのは、会員一人が一人を紹介すると言われても、ロータリーに入ってください、と頭を下げて入ってもらおうようでは駄目で、ロータリーに入れてください、私は入りたい、ロータリーに入って自分を学ばせてくださいという方向にもっていかなければならないと明言されています。

そして、ロータリーの未来というものは、走りやすいハイウエーを建設していくことが大事で、素晴らしい機能性を持った、多様性のハイウエーを造っていくことで、各クラブが事故なく安心して走っていける、そんな組織を創ってもらわなければならない、と提言しています。

【横組み31ページ】

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識

「よねやまだより」では、毎年8月～9月号に基礎知識が掲載されます。新会員はもちろん、ベテラン会員もご一読ください。

【縦組み4ページ】

渋沢栄一 の精神を受け継ぐ(大阪 RC:サラヤ株式会社 取締役社長 更家悠介)

大河ドラマの主人公になっている渋沢栄一は、

多くの企業の設立や育成に携わる一方で、福祉や教育などの社会事業にも尽力し、その生き方や功績は、企業家のあるべき姿を示し、ロータリーの職業奉仕とつながることであり、渋沢の思想についてよく考え、必ず実践することが大事です。

中でも、職業奉仕とは他社への感謝にあると考えています。従業員への感謝、地域への感謝、地球の資源への感謝等、職業奉仕の原点は、これら「感謝」が大事なキーワードになると思っています。

【縦組み9ページ】

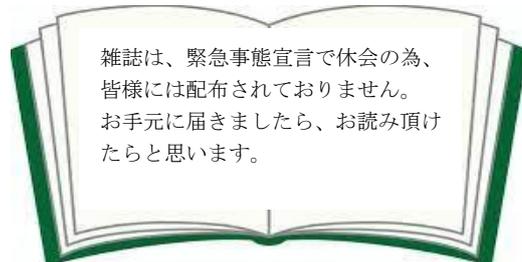
この人を訪ねて(宇部西ロータリークラブ 金子純子さん)

小児科の院長で、こども食堂「みんなや食堂」の運営を行っています。金子さんは波乱の人生を送っており、その過酷な経験から、何も驚かない、捨てられる寂しさ、うそをつく人の気持ちも分かると語り、「支援」という言葉は嫌いで「シェア」だと思っていますと言っています。

【縦組み22ページ】

ROTARY AT WORKでは全国のロータリークラブの様々な社会奉仕活動が紹介されていますので参考になります。

- ・山梨RC：ワクチン接種会場での誘導係
- ・東京青梅RC：フードバンクへお米を寄付
- ・鹿児島東RC：高齢者施設へAEDを寄贈
- ・和歌山東南RC：公衆トイレの改修等々



～ロータリーについて知ろう～

第5回目

当クラブでも米山奨学生のカウンセラーとして大澤さんが何度か受入れています。毎年米山奨学会への寄付の依頼もしているので、ほとんどの人が知っていると思います。昨年度の寄付金は13億3,600万円でした。本年度の奨学生の採用人数は880人となります。過去の奨学生のお話を聞いてみると、この米山奨学金があることによってバイトの時間が減って学業に専念できると語っていました。日本に勉強に来た留学生を少しでも助けたいという思いでの活動です。寄付することも大きな奉仕の一環ですので、皆様のご支援をお願いします。

■例会アワー

◆新会員卓話

1. 自己紹介

出身地は高知県香南市赤岡町。高知市から東へ20kmほどの海辺の歴史ある町で、春のドROME祭りと夏の絵金祭りが名物です。大学時代は東京都八王子市で過ごし、1992年に新日本製鉄に入社しました。本社勤務は通算17年ほどで、鉄鉱石など原料の購買業務に携わってきました。製鉄所勤務は、広畑（姫路市）、室蘭、釜石と経験し、2020年4月から東日本製鉄所労働・購買部長として君津でお世話になっています。

2. 今日の本題

入社後、転勤で各地を回ってきましたが、そのなかでも感銘を受けた釜石の歴史とラグビーとの関わりについてお話したいと思います。

2019年に開催されたラグビーワールドカップで釜石市は開催都市の一つとなりました。釜石市とラグビーの関係は日本選手権V7を達成した新日鉄釜石ラグビー部に遡りますが、更に遡って釜石の鉄づくりの歴史からお話したいと思います。幕末、ペリー提督が率いる黒船来航を受け水戸藩は大砲を铸造するため、多種の学問を修めていた南部藩士の大島高任を技術者として招聘しました。大島高任は良質な鉄を生産する洋式高炉の必要性を感じ、その原料となる鉄鉱石が大量に埋蔵されている南部藩の大橋（現釜石市）に高炉を築造し、幾多の苦難を経て、安政4年12月1日、我が国初の洋式高炉による連続出鉄に成功しました。明治期に入り、1880年に釜石で官営製鉄所が操業を開始しましたが、残念ながら操業が上手くいかず3年後には官営製鉄所は閉鎖、1885年には民間の田中長兵衛が払い下げを受け、幾多の失敗を重ねながらも49回目の挑戦で連続出鉄に成功しました。その後、経営が変化しながらも釜石での鉄づくりは続き、長い歴史のなかでは東日本大震災を含む3度の津波に襲われ、また戦時中は2度の艦砲射撃で壊滅的な打撃を受けましたが、「不撓不屈」の精神で都度再生し、現在に至っております。釜石ラグビーの起源は、1959年に同好会として発足した富士製鉄釜石ラグビー部に遡ります。地元東北や北海道出身の選手が徹底的に鍛え上げられ、そこに東京の大学出身のスタープレイヤーが加わって、1979～1985年には日本選手権7連覇を達成。「北の鉄人」の愛称で日本ラグビー史の一時代を築き、釜石市民の誇りとなりました。2001年には企業チームから地域や複数企業が支援するクラブチームとして釜石シーウェイブスが発足し、釜石ラグビーの歴史を繋いでいます。その様な中、2011年に東日本大震災が発生。釜石市は壊滅的な被害を受けましたが、ラグビーを通じた復興を目指し、

竹内正守会員



ラグビーワールドカップの誘致を実現。津波で大きな被害を受けた鶴住居小学校、釜石東中学校の跡地にスタジアムが新設され、ワールドカップ当日はV7当時の国立競技場を彷彿とさせる沢山の大漁旗が青空の下ではためいていました。釜石ラグビーの歴史を繋ぐ釜石シーウェイブスは、来年から開催されるジャパンラグビーリーグワンに参加し、DIVISION2としてスタートすることになりました。釜石のDNAである「不撓不屈」の精神で、より高みを目指していきますので、ご声援宜しくお願いします。

【釜石の歴史とラグビーについて】

2019年に開催されたラグビーワールドカップで釜石市は開催都市の一つとなりました。釜石市とラグビーの関係は日本選手権V7を達成した新日鉄釜石ラグビー部に遡りますが、更に遡って釜石の鉄づくりの歴史からお話したいと思います。幕末、ペリー提督が率いる黒船来航を受け水戸藩は大砲を铸造するため、多種の学問を修めていた南部藩士の大島高任を技術者として招聘しました。大島高任は良質な鉄を生産する洋式高炉の必要性を感じ、その原料となる鉄鉱石が大量に埋蔵されている南部藩の大橋（現釜石市）に高炉を築造し、安政4年12月1日、我が国初の洋式高炉による連続出鉄に成功しました。

1880年には釜石で官営製鉄所が操業を開始しましたが、残念ながら上手くいかず3年後には官営製鉄所は閉鎖、1885年には民間の田中長兵衛が払い下げを受け、幾多の失敗を重ねながらも49回目の挑戦で連続出鉄に成功しました。その後、経営が変化しながらも釜石での鉄づくりは続き、長い歴史のなかでは3度の津波に襲われ、また戦時中は2度の艦砲射撃で壊滅的な打撃を受けましたが、「不撓不屈」の精神で都度再生し、現在に至っております。

釜石ラグビーの起源は、1959年に同好会として発足した富士製鉄釜石ラグビー部に遡ります。地元東北や北海道出身の選手が徹底的に鍛え上げられ、そこに大学出身のスタープレイヤーが加わって、1979～1985年には日本選手権7連覇を達成。

「北の鉄人」の愛称で日本ラグビー史の一時代を築き、釜石市民の誇りとなりました。2001年には企業チームから地域や複数企業が支援するクラブチームとして釜石シーウェイブスが発足し、釜石ラグビーの歴史を繋いでいます。2011年には東日本大震災が発生し、釜石市は壊滅的な被害を受けましたが、ラグビーを通じた復興を目指し、ラグビーワールドカップの誘致を実現。津波で大きな被害を受けた鶴住居小学校、釜石東中学校の跡地にスタジアムが新設され、ワールドカップ当日はV7当時の国立競技場を彷彿とさせる沢山の大漁旗が青空の下ではためいていました。釜石ラグビーの歴史を繋ぐ釜石シーウェイブスは、来年から開催されるジャパンラグビーリーグワンに参加し、DIVISION2としてスタートすることになりました。釜石のDNAである「不撓不屈」の精神で、より高みを目指していきますので、ご声援宜しくお願いします。

◆点鐘 渡邊慎司会長 13時30分